



川崎市立多摩病院



聖マリアナ医科大学

37号

秋

たま病院ニュースレター

TAMA Hospital News Letter 2022



整形外科 大沼 弘幸

骨粗鬆症は痛みの原因になる！ 病気が原因のこともある！ 人生100年時代の骨をつくろう！

骨粗鬆症とは、骨の強さ（骨強度）が低下して、骨折しやすい状態になることです。骨強度は、骨量の指標となる「骨密度」と骨の構造など「骨質」の2つの要因によって決まります。骨量は成長期に増加し、20歳頃に最大骨量に達します。その後比較的安定に推移した後、加齢に伴い減少します。特に女性においては、閉経に伴い骨量が減少しやすくなります。

骨粗鬆症の危険因子には、加齢などの除去できないものと食事や運動などの生活習慣に関わる要因で除去できるものがあります。骨粗鬆症になる前から生涯を通じて、下記の除去できる因子を減らすなど、骨粗鬆症の予防が大切です。

カルシウム不足、ビタミンD不足、ビタミンK不足、リンの過剰摂取、食塩の過剰摂取、
極端な食事制限、運動不足、日照不足、喫煙、過度の飲酒、多量のコーヒー

（厚生労働省ホームページより抜粋）

当整形外科を受診した80歳以上のほとんどの方が骨粗鬆症です。徐々に背骨が曲がり、骨や関節が変形します。極端に低い骨密度になると脆弱性（もろさ）骨折を繰り返したり、誤診されがちな不定愁訴や痛みを伴ったりすることがあります。この段階になると食事による回復が難しいのが現状です。一方、比較的若い年齢で骨粗鬆症がある場合は、副甲状腺機能亢進症など様々な病気が関連していることもあります。時には不定愁訴や痛みの症状を伴うことがあります。治療により、骨折率が下がったり、症状が改善したりします。

骨粗鬆症の治療法には、注射薬と飲み薬があり、効果が高いのは注射薬です。骨密度検査と尿・血液検査を受け、個々に適した治療を受け、人生100年時代の骨をつくりましょう！

部門紹介

総合診療内科

総合診療内科で取り扱う症状や疾患の多くは、単一臓器にとどまらず複数の領域におよぶ問題を有しており、また高齢者の占める割合が高いことから、解決すべき課題も退院支援や療養環境調整など多岐にわたります。そのため当科では、総合内科専門医、認定病院総合診療医および家庭医療専門医などの総合診療に関わる資格を持ち、豊富な経験を有する医師が中心となり診療にあたっています。急性期から回復期・慢性期の内科領域全般にわたる幅広い疾患に対応しています。



非紹介患者初・再診加算料の変更について

国の制度変更（義務化）により、**紹介状を持たずに受診された初診患者さん**※および**当院から他院へ紹介したにもかかわらず、再度当院を受診する患者さん**について、**令和4年10月1日より診療費とは別に下記の料金を全額自己負担（自費）**で徴収させて頂く事となりましたのでよろしくお願いいたします。なお、今回の制度変更により、同日に他の傷病について、新たに別の診療科を紹介状なしで受診する場合についても下記料金の対象となります。

当院における初・再診加算料の料金（税込）

		現在		令和4年10月1日～
非紹介初診加算料	医科	5,500円	➔	7,700円
	歯科	3,300円	➔	5,500円
再診患者加算料	医科	2,750円	➔	3,300円
	歯科	1,650円	➔	2,090円

緊急その他やむを得ない事情があると当院が判断した場合についてはこれらの金額の徴収はございません。

※初診とは一連の治療に対しての初診であり、当院の受診が初めてという意味ではございません。（詳細については1番初診・再診受付にお問い合わせください。）